

日 時	令和2年6月24日(水) 15:00~16:40
出席者	資料 参照
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 委員委嘱</p> <p>3 会長互選及び職務代理者の選定</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 後期基本計画素案について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
議 事	◎会長、○委員、●事務局
事務局	<p>1 開会</p> <p>企画課事務局にて開会</p>
事務局	<p>2 委員委嘱</p> <p>令和2年6月24日~令和4年3月31日の任期で委嘱(委嘱状を交付)</p>
事務局	<p>3 会長互選及び職務代理者の選定</p> <p>【会長の互選】</p> <p>事務局一任との発言があり、他の委員も異議なしとの賛同を得たので、事務局より引き続き、諸坂佐利委員を会長に提案した。全会一致で諸坂佐利委員を会長に選任した。</p> <p>【職務代理者の選定】</p> <p>諸坂佐利会長より指名があり、加藤幸一郎委員を職務代理者に選任した。</p> <p>欠席委員1名、過半数の出席を満たすので会議は成立するものとし議事を進行</p> <p>配布資料の確認</p>
事務局	<p>4 協議事項</p> <p>(1) 後期基本計画素案について</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料2、資料3、参考資料1、参考資料2に基づき説明
会 長	<p>【意見】</p> <p>◎初めての委員もいるので簡単に補足したい。まず、基本構想は町の理念であり、ビジョンや方向性を示すものである。平成28年度から令和7年度の10年間のスパンで基本理念を掲げ、それを半分に割って前期基本計画、後期基本計画と呼ぶ。平成28年度に10年間を見据えて理念を掲げ、前期5年の重点プランと具体的な施策で前期基本計画をつくり、冊子にまとめている。その後、5年間での様々な変化に伴い修正が必要なので、青字で修正をしている。それを踏まえ、後期5年の重点プランとして3つの柱を掲げている。この重点プランに基づき、28ページ以下に分野別にさらに細かく、町が力を入れて取り組む事項が130ほど書かれている。3ページのピラミッドの図では、一番上に町が掲げる理念があり、憲法に相当するようなものである。それに基づき重点的に取り組むこと、さらにそれを実現するためにやるべきことが一番下の裾野の部分に</p>

	<p>なっている。今日は三層の一番上と2番目の説明をいただいた。まず、素案の20ページから25ページの重点プランをメインに審議していきたい。その後、全体の問題について意見を賜りたい。専門用語が難しいので、基本的な言葉の質問も含め意見を頂戴したい。</p>
<p>委員</p>	<p>○補足説明を2点、要望を1点お願いしたい。まず、SDGsとは何か、説明が必要だと思う。次に、今回新たに9ページにマークが出ているが、この意図は何か。要望は、資料3の2ページ、重点プランの中の「町民WS」について。町民と企業のアンケート等によって計画がつけられているという特徴がこの言葉によって表現されていると思う。一般的には町民一人一人が主役という言葉が使われるが、そこに企業も入っている。そういうものがこの計画の中の副題に表現されていたほうが良いと思う。前回、いただいた意見を取り入れている旨をどこかで表現してほしいと要望したが、企業と一緒にまちづくりをしていくというWSという言葉について、町民プラス企業とか産業とかという言い方があったほうが良い。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>◎まず、SDGsの説明をいただきたい。</p> <p>●SDGsについては資料2の8、9ページに記載しているが、これは持続可能な開発目標という意味で、平成27年に国連サミットで採択された世界共通の目標である。17の目標から構成され、9ページに17のアイコンを示している。これは世界的な取組で、国をはじめ地方公共団体にも取組が求められている。町の大きな方向性を示す総合計画の中に、この17の目標を、関連性を持たせて計画を推進することでSDGsの目標達成にも寄与するという意図で、分野別計画の中にアイコンを示し、SDGsの説明とともにアイコンとの関係についても説明をしているものである。</p>
<p>委員</p>	<p>○それ以外にも頭文字を使って表現されているものがわかりにくいので、用語説明の一覧表がほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>○後期基本計画には、総合戦略やSDGsが記載されていて盛りだくさんな内容だが、町が目指すものがぼやけているように感じる。様々な計画を盛り込み、その事業評価もやっていくことが果たしてできるのか。また、25ページの「新たな地域活動の実施」「サロン活動」。高齢化社会で家に閉じこもる人をなくし、一つの場所に集まってコミュニケーションをとる地域活動含めサロン活動の実施が福祉の分野でも叫ばれており、社会福祉協議会もそういう事業をやっている。しかし、自治会単位ではばらつきがある。27自治会をブロックごとに分け、行政が活動をつくっていくことが必要なのではないか。従来は防災や清掃等の行事を行ってきたが、独居老人が増え、自治会活動そのものの見直しが必要なのではと感じている。その辺を含め目標設定を考えていただきたい。また、新型コロナウイルスで大きく社会生活様式が変わると思うが、拠点病院のない町としては広域連携を進める必要がある。後期基本計画の中に新型コロナウイルスに関連した感染予防対策等医療関係の具体的な施策がほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>●前回もいろいろ盛りだくさんで内容がぼやけているという指摘をいただいたので、町としてもシンプルな計画をつくっていかなくてはいけないと思っている。大きな方針を総合計画で位置付け、詳細は分野ごとに個別計画を策定している。SDGsについても、前期基本計画で既にSDGsの内容に取り組んでいるので、既存の計画にSDGsを位置付けることで対応していきたい。改めてSDGsのための事業展開をするという考えではない。SDGsの内容が伝わらないということであれば、補足の説明が必要である。新型コロナウイルスの関係も、37ページ等の中で地域医療体制の充実について言及しており、地域の医療機関との連携についても、町内だけでなく近隣の広域連携をしている秦野市の拠点病院との連携等、近隣の市町村と連携しながら充実を図っていくことは引き続きやっていく必要があると思うので、書き込みが不足していないか検証していきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>◎SDGsの説明は委員の質問に対する回答になっていない。一般の人がSDGsを理解するための記述が必要だ。国連でなぜ採択したのかという背景の説明や、イメージ図を入れたほうが良い。</p>

	<p>ネット検索するとわかりやすい画像があるので、それを参考に図を作り、SDGsの考え方のイメージがわかるようにしたほうがよい。また、巻末に用語集をつけてほしい。用語集の重要なポイントは、教科書的な説明で足りる用語と町独特の定義をしている用語と分けることだ。例えば、町民WSについては、先ほどの意見を聞く限りでは、一般的には町民の集まりと理解されるが、町では企業も民間人も入れてみんなでやろうというコンセプトで使っていると思われるので、一般のワークショップの概念とは違う。SDGsについては教科書的な説明でいいが、町独特の定義づけをしている用語についてはさらに丁寧に用語集での説明が必要だと思う。</p>
委員	<p>○21 ページの関係人口について、関係人口の定義は曖昧だが、その中で基本目標値に具体的な数字が出ている。数字が出ているのであれば、関係人口の中でも、比較的密接な関係、薄い関係という内訳はどうなっていて、その目標値の達成により将来何を指すのかという数字の中身も必要ではないか。それにより将来の方向性も見えてくる。また、転入者について、コロナ禍で東京一極集中が緩和され、都心から少し離れた中井町でも転入者が増えるかもしれない。そのための受皿の部分で具体的な施策を考えなければいけない。また、転入の理由を分析することも必要だと思う。</p>
事務局	<p>●関係人口の実績の積算根拠は、「里都まち交流拠点」とNPO活動拠点の2つをカウントして268人としている。関係人口の定義が曖昧なので、町としては明確に線引きする必要がありと考え、総合計画に取り組んでいく中で新たにできた拠点を生かした関係人口をさらに増やしていくことが求められるという考え方から、この2つを実績としてカウントした。目標の350人の積算根拠は、「里都まち交流拠点」とNPO法人の拠点を伸び幅プラス産官学民の連携で、特に学生との連携により関係人口が創出できるのではないかと考えている。例えば大学との連携事業を創出することにより町外居住の学生が定期的に来町する関係が築けるのではないかと考えている。学生との連携による関係人口の創出分を上乗せして350人と算出している。次に、転入者の受皿については、明確に新型コロナウイルス関係の施策として位置づけているものはないが、産官学民の新たな連携や交流人口も、今後地方に行ってみようという気持ちの変化を的確に捉えながら増やしていけるように取り組んでいきたい。転入者の内訳については、主に中井町の場合、20代、30代の子育て世代の転出が多く、人口に占める割合が低い。それにより子ども自体も減り、少子高齢化や人口減少が進んでいるという課題があるので、この世代に限定するものではないが、子育て世代の増加にはかなり力を入れる必要があると考えている。</p>
委員	<p>○委員の質問の意図は違うのではないかと。転入者を増やす具体的な施策について、例えば市街化調整区域の問題等の話ではないか。</p>
委員	<p>○それも含まれる。家でなくても近所で仕事ができるなど、テレワークの環境整備等、新たな課題があるのではないかと。</p>
事務局	<p>●2月ごろからコロナ禍により生活様式も変わっていくのではないかとされている中で、今まで通勤していたものが在宅で仕事ができるような働き方の変化も出てきている。中井町の場合、通勤時間や駅までの移動に不便があるが、テレワークにより町内で仕事ができる環境になってくる。ここで書き込みはしていないが、テレワークの環境づくり、空き家を活用したスペースの確保等の施策も今後の展開の中では考えられるので、取り組んでいきたいと思う。</p>
会長	<p>◎この原案作成に当たってはコロナ禍を想定しておらず、想定しないままタキ台が出てきている。今ようやく我々がここで議論しているので、このたたき台に対してコロナ禍におけるリスクマネジメントを想定してもう一度書き直せるのであれば事務局にお願いしたい。我々の生活様式が変われば行政のスタイルも変わり、やるべきポイントも変わってくるはずなので、コロナ禍を踏まえ、書き直しができなくても後期基本計画につけ加えることはできると思う。それも視野に入れて議論することは非常に先進的な取組だと思う。ゼロからやり直すのではなく、何かつけ加える</p>

委員	<p>だけでもインパクトは生まれると思うので、検討いただきたい。</p> <p>○重点プランには人口増加、あるいは減少の抑制が目的の一つとしてあると思われるが、外国人住民が増えている現状を加味し、外国人住民と暮らしていくという未来を描くことも必要でないか。日本では人口減少が進むが、世界でみると人口は増えていく。50～100年先というスパンで考えることも重要ではないか。</p>
会長	<p>◎綾瀬市は外国人が多い地域で、行政からの助成もあり、積極的に工場で外国人を雇用し、また教育、研修する場もあるので、日本人に限らずやっぴいこうということで頑張っている。技術を本国に持ち帰り、また新しい人材が来るといふ人的交流も進めている。日本人に限定しているといふき詰る。</p>
委員	<p>○人口ビジョンに関しては、総人口を何人にするといふ数字ばかり追うのではなく、330人の外国人のほか、障害者施設、老健施設、介護施設などがあり、そういった方々が転入してくるといふ実態もあることから、トータルにみて検討していく必要があるのではないか。特に外国人に対する行政の支援が必要である。</p>
会長	<p>◎簡単なのは英語でホームページをつくることだ。そうしないとPRしても日本語だと読めない、わからない。例えば横浜市は英語表記のホームページがあるので、読み込むだけでも全然違う。</p>
委員	<p>○生活支援の証明書を民生委員が外国語で書かなくてははいけない。小さい町だが多言語対応が必要なのではないか。</p>
会長	<p>◎まさにこれからの人口戦略を考えていかなければならない。そういう意見に対し、この計画でどれだけきちんと表現できているかは、具体的な施策の検討のところでもた議論したい。</p>
事務局	<p>●外国人対応については課題と認識しており、共生社会の実現をうたっている。重点プランでも、新たな外国語対応の取組等といふ中でも、ある程度現状を踏まえた中での書き込みをしており、その認識を持って計画のつくり込みをしている。</p>
委員	<p>○国際化、情報化はどこでも当たり前にいふているが、中井町は取り残されている。現在外国人は二世、三世もいる。以前国勢調査をしたときに、日本語が通じないので子どもを呼んで通訳させた。当時外国人一世は集団で生活している人もおり、中に日本語が話せる人がいれば1人ずつ通訳させ書類をつくった経験がある。その時代から世の中は変わってきて、二世は社会人になっている者もおり、小学校、中学校の日本人同級生と一緒に遊んでいる。さらに孫もいる。国籍は外国であっても住所は日本にあり、中井町の人と何ら変わらない生活をしている。そういう時代になっているので、この中に国際化、情報化が進んでいるといふ表現を入れ、外国人も仲間に入れて何かできないか。自治会にも加入してもらい、仲間意識を醸成できればいいと思う。</p>
事務局	<p>●外国籍330人中、南米の方が100人程度、残る200人はほとんどフィリピンの方となっている。人材派遣会社を通じて集合住宅を借り切って居住しており、出入りも多い。同じ外国人でも住居形態は変わってきている。委員の意見は承知した。</p>
委員	<p>○国際化、情報化といふ中で一緒にやっぴいっていくといふ表現を使っぴいほしい。</p>
事務局	<p>●承知した。</p>
会長	<p>◎技術的な話をしたい。まず、21ページの表、関連する主な施策は130もある。「5-1-1-2」は「5-1-1」のように、枝葉の部分を書かずに一つ手前で止めておいたほうがよいのではないか。次に、「期待される効果」については、20ページには「活力」を中心概念にして安心・快適にも波及させて実現を図るといふ話で、右頁の個別目標値の表の期待される効果が(1)から(5)で記載されているが、項目ごとにその数にばらつきがあるようにみえる。1と2は矢印でつながっているので、1-2の関係性をA、1-3の関係性をB、1-4の関係性をCとして、書いたほうがすっきり見え、バランスよくなると思うので、検討いただきたい。同じく個別目標値の表の最後の総合戦略の欄について、目標1が3つ、目標2が2つ、目標3が3つで、目標4だけが</p>

	<p>12個とばらつきがある。5ページに基本目標が4つあり、次に横断的目標が2つあるが、基本目標に対して重点プランが3つあり、全て関連性があるという言い方をしている。しかし、表に落とし込むと数にばらつきがあるので、ここもバランスよく均等にしたいと思う。また、総合戦略の基本目標を探したがなかなか見つからなかった。何がどこに書いてあるのか、ページ数を入れていただくとわかりやすい。町民は行政にも法律にも詳しくないので、見える化をして読んでもらうという意識でつくりたいと、行政の自己満足になってしまう。町民目線で作るという視点を全体の中で工夫してもらいたい。重点プランについての質疑は以上をしたいが、全体を通じての感想、意見等を賜りたい。</p>
委員	<p>○これを読みなさいと渡されても恐らく読まないだろう。もう少し読みやすくわかりやすく利用しやすく、自分たちの考えではなく町民レベルで考えてほしい。</p>
委員	<p>○それに尽きる。</p>
委員	<p>○評価指標が出てきて評価はしやすくなったが、この目標を実現したときに本当に良くなるのかという疑問がある。そういう意味で、解説を入れてわかりやすくしていただきたい。</p>
会長	<p>◎専門用語は用語集に入れていただきたい。以上で終了したいが、何か気づいた点は事務局に連絡いただければ本日の審議に反映させたいと思う。以上で審議を終了する。</p>
事務局	<p>5 その他 次回審議会日程</p>
事務局	<p>6 閉会</p>